

2023年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月13日

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ 上場取引所 東 名
 コード番号 8886 URL <https://www.woodfriends.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 知秀
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 村山 淳二 TEL 052-249-3504
 四半期報告書提出予定日 2022年10月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨)

1. 2023年5月期第1四半期の連結業績（2022年6月1日～2022年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第1四半期	10,734	2.6	152	△73.2	73	△85.7	27	△92.7
2022年5月期第1四半期	10,463	26.3	570	—	512	—	379	—

(注) 包括利益 2023年5月期第1四半期 48百万円 (△87.8%) 2022年5月期第1四半期 395百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第1四半期	19.10	—
2022年5月期第1四半期	260.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期第1四半期	34,978	7,593	20.3	4,861.75
2022年5月期	33,318	7,779	21.9	5,003.32

(参考) 自己資本 2023年5月期第1四半期 7,088百万円 2022年5月期 7,295百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	0.00	—	161.00	161.00
2023年5月期	—				
2023年5月期 (予想)		0.00	—	154.00	154.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年5月期の連結業績予想（2022年6月1日～2023年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	30,000	32.1	830	△32.6	590	△50.6	360	△57.3	246.61
通期	62,500	47.8	1,880	25.9	1,400	3.5	900	△3.9	617.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年5月期1Q	1,480,000株	2022年5月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	2023年5月期1Q	21,917株	2022年5月期	21,917株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年5月期1Q	1,458,083株	2022年5月期1Q	1,458,168株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自2022年6月1日 至2022年8月31日)の概況は、以下のとおりであります。

① 当地域の不動産業界

愛知県の地価調査では、平均変動率が住宅地は1.5%、商業地では2.3%の上昇となりました。当第1四半期連結累計期間である2022年6月から2022年8月における愛知県の新設住宅着工戸数は前年比で減少しているものの、愛知県市場全体での分譲住宅の在庫数は依然として高い水準にあり、販売競争は激化しております。

② 当社の取り組み

- ・木質資源を最大限活用するため、構造材の生産工程における余剰材を利用したオリジナル商品の開発に注力しております。防火設備認定を取得した「WINDOW WOOD」等の商品改良にも積極的に取り組み、デザイン・性能共に他社との差別化をより一層進めてまいりました。
- ・住宅事業において、岐阜県及び三重県での分譲戸建住宅の販売を開始する等、販売エリアの拡大をはかりました。また、寡占化が進む住宅業界において、愛知県の分譲戸建住宅販売シェアナンバー1を目標とし、用地仕入れに注力いたしました。
- ・在庫回転率を重視し、岐阜工場を活用した現場作業の削減による工期短縮や、WEBを中心とした販促ツールの強化等による販売期間の短縮に努めました。
- ・性能や価格を明示した商品住宅をフルラインナップで揃えました。高い性能の住宅をリーズナブルな価格で提供することにより、戸建住宅市場でのシェア拡大を目指します。
- ・工場投資を引き続き行い、地域の国産材流通ネットワークを中心とした住宅建材の安定供給を行う体制の構築を進めております。
- ・HOTEL WOOD高山にて、高山の文化や地元産業を体験できる酒蔵見学等のツアーを開催しております。ラウンジスペースでの利酒サービスも多くのお客様にご好評いただいております。高山を訪れた思い出を持ち帰っていただきたいという思いから、オリジナル地酒「上二」の販売を開始しました。

③ 環境への取り組み

当社は「環境への取り組み」を企業の継続的な発展生存のテーマと位置付け、「木質資源カスケード事業」を軸に、国産木資源の積極的な利用を推進しております。現在は、原木の安定的かつ持続可能な供給体制の確立に向けて、森林の確保、森林管理の外部アライアンスの構築に向けて動いております。

④ 当第1四半期連結累計期間の業績

<連結業績>

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第1四半期実績	10,734百万円	152百万円	73百万円	27百万円
前第1四半期実績	10,463百万円	570百万円	512百万円	379百万円
前年同期比	2.6%増	73.2%減	85.7%減	92.7%減

	販売戸数	内訳	
		戸建住宅	集合住宅
当第1四半期実績	251戸	237戸	1棟14戸
前第1四半期実績	255戸	255戸	—
前期実績(通期)	1,004戸	1,004戸	—

<セグメントの実績>

a 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売及び住宅建設資材の製造・販売

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第1四半期実績	9,421百万円	169百万円	販売戸数の減少により、売上高が減少。 また、建設資材価格の上昇等により利益が減少。
前年同期比	3.8%減	74.4%減	

b 余暇事業

ゴルフ場及びホテル並びに公共施設の運営管理及び施設管理

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第1四半期実績	656百万円	154百万円	ゴルフ場運営が堅調に推移したことに加え、ホテルの宿泊客増加等により、売上高及び利益が増加。
前年同期比	12.0%増	24.2%増	

c 都市事業

収益型不動産の開発並びに施設等の維持管理等

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第1四半期実績	666百万円	6百万円	収益不動産の販売により、売上高が増加。
前年同期比	616.9%増	—	

d その他の事業

上記以外の外部顧客への販売・サービスの提供

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第1四半期実績	4百万円	2百万円	—
前年同期比	0.0%増	3.9%増	

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、棚卸資産の増加を主な要因として、前連結会計年度末と比較して1,659百万円増加し、34,978百万円となりました。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、借入金の増加を主な要因として、前連結会計年度末と比較して1,845百万円増加し、27,384百万円となりました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少を主な要因として、前連結会計年度末と比較して186百万円減少し、7,593百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年7月15日付の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,692,398	3,704,520
完成工事未収入金	26,209	37,945
売掛金	536,389	476,989
販売用不動産	8,140,006	9,917,865
仕掛販売用不動産	8,601,965	8,390,301
商品及び製品	897,007	1,005,519
未成工事支出金	2,770,092	3,144,967
仕掛品	368,201	372,273
原材料	1,068,459	1,250,533
その他	1,024,024	1,260,313
流動資産合計	28,124,754	29,561,230
固定資産		
有形固定資産	4,434,701	4,618,560
無形固定資産	101,832	134,814
投資その他の資産	657,628	663,465
固定資産合計	5,194,162	5,416,841
資産合計	33,318,917	34,978,072
負債の部		
流動負債		
工事未払金	2,686,835	2,447,620
買掛金	1,406,158	1,331,381
1年内償還予定の社債	477,400	521,400
短期借入金	11,992,661	14,916,115
1年内返済予定の長期借入金	1,248,565	1,180,845
匿名組合預り金	192,940	317,740
未払法人税等	233,177	41,342
賞与引当金	247,034	69,611
役員賞与引当金	35,375	—
完成工事補償引当金	119,598	117,363
その他	823,811	887,911
流動負債合計	19,463,559	21,831,331
固定負債		
社債	1,575,600	1,382,900
長期借入金	3,018,835	2,733,111
退職給付に係る負債	2,878	3,112
役員退職慰労引当金	171,690	174,429
資産除去債務	75,368	77,234
その他	1,231,306	1,182,755
固定負債合計	6,075,679	5,553,542
負債合計	25,539,239	27,384,873

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	284,956	284,956
利益剰余金	6,772,992	6,566,086
自己株式	△42,195	△42,195
株主資本合計	7,294,879	7,087,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	377	861
その他の包括利益累計額合計	377	861
非支配株主持分	484,421	504,363
純資産合計	7,779,677	7,593,198
負債純資産合計	33,318,917	34,978,072

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)
売上高	10,463,107	10,734,175
売上原価	8,931,266	9,536,390
売上総利益	1,531,840	1,197,785
販売費及び一般管理費	960,959	1,044,958
営業利益	570,880	152,826
営業外収益		
受取利息	388	388
受取手数料	3,253	2,986
助成金収入	4,174	—
受取保険金	4,217	1,430
その他	3,702	8,518
営業外収益合計	15,735	13,324
営業外費用		
支払利息	62,675	86,205
その他	11,393	6,422
営業外費用合計	74,068	92,628
経常利益	512,548	73,522
特別損失		
固定資産除却損	0	688
特別損失合計	0	688
税金等調整前四半期純利益	512,548	72,833
法人税等	117,464	25,046
四半期純利益	395,083	47,787
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,826	19,942
親会社株主に帰属する四半期純利益	379,257	27,845

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)
四半期純利益	395,083	47,787
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	506	484
その他の包括利益合計	506	484
四半期包括利益	395,590	48,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	379,763	28,330
非支配株主に係る四半期包括利益	15,826	19,942

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 簡便な会計処理

a 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。

b 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症及びウクライナ情勢に係る影響について)

新型コロナウイルス感染症や、ロシアによるウクライナの軍事侵攻及び関連するロシア経済制裁の広がり、その収束時期を見通すことは困難な状況ですが、今後、新型コロナウイルス感染症のまん延やウクライナ情勢が一段と悪化した場合には、資材価格の高騰等により、当社グループの経営成績等に重要な影響を与える可能性があります。

なお、前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)「余暇事業 HOTEL WOOD高山における固定資産の減損」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の拡大や収束を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	住宅事業	余暇事業	都市事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
売上高							
分譲住宅及び土地	8,695,403	—	—	—	8,695,403	—	8,695,403
注文住宅	225,342	—	—	—	225,342	—	225,342
建設資材	601,842	—	—	—	601,842	—	601,842
リフォーム	73,880	—	—	—	73,880	—	73,880
施設利用料	—	537,164	—	—	537,164	—	537,164
その他	197,025	47,637	58,926	—	303,589	—	303,589
顧客との契約から生じる収益	9,793,494	584,801	58,926	—	10,437,222	—	10,437,222
その他の収益(注) 3	—	—	21,676	4,208	25,885	—	25,885
外部顧客への売上高	9,793,494	584,801	80,603	4,208	10,463,107	—	10,463,107
セグメント間の内部売上又は振替高	79	1,123	12,352	—	13,556	△13,556	—
計	9,793,573	585,925	92,955	4,208	10,476,663	△13,556	10,463,107
セグメント利益又は損失(△)	662,782	124,608	△7,373	2,313	782,330	△211,449	570,880

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他賃貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△211,449千円には、セグメント間取引消去4,930千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△216,379千円が含まれています。

3 その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸料収入等であります。

4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	住宅事業	余暇事業	都市事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
売上高							
分譲住宅及び土地	8,003,509	—	—	—	8,003,509	—	8,003,509
注文住宅	591,023	—	—	—	591,023	—	591,023
建設資材	574,763	—	—	—	574,763	—	574,763
リフォーム	124,450	—	—	—	124,450	—	124,450
施設利用料	—	606,097	—	—	606,097	—	606,097
収益不動産	—	—	555,454	—	555,454	—	555,454
その他	127,809	49,973	58,198	—	235,980	—	235,980
顧客との契約から生じる収益	9,421,555	656,070	613,652	—	10,691,278	—	10,691,278
その他の収益(注) 3	—	—	38,688	4,208	42,896	—	42,896
外部顧客への売上高	9,421,555	656,070	652,340	4,208	10,734,175	—	10,734,175
セグメント間の内部売上又は振替高	—	—	14,094	—	14,094	△14,094	—
計	9,421,555	656,070	666,435	4,208	10,748,269	△14,094	10,734,175
セグメント利益	169,580	154,705	6,784	2,404	333,474	△180,648	152,826

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他賃貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△180,648千円には、セグメント間取引消去843千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△181,491千円が含まれています。

3 その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸料収入等であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。